

売上債権回転期間

**2022 年度の売上債権回転期間（全産業・全規模）は 1.88 月
製造業（全規模） 2.30 月、非製造業（全規模） 1.72 月**

（1）財務指標の説明

売上債権回転期間とは、売上高に対する売上債権の割合を言い、企業が所有する売上債権がどれくらいの期間で回収できるかを計る尺度です。

売上債権回転期間が短い場合は、一般的に売上債権が現金化できるまでの期間が短いため、資金繰りが健全かつ効率的であると言われています。

$$\text{売上債権回転期間(月)} = \frac{\text{売掛金} + \text{受取手形[期首・期末平均]}}{\frac{\text{売上高}}{12}}$$

貸借対照表

資産の部	負債の部
I 流動資産 受取手形 売掛金	I 流動負債 II 固定負債
II 固定資産	純資産の部
III 繰延資産	I 株主資本 II 評価・換算差額等 III 新株予約権
資産合計	総資本（負債・純資産合計）

損益計算書

I 売上高
II 売上原価 売上総利益
III 販管費 営業利益
IV 営業外損益 経常利益
V 特別損益 税引前当期純利益
VI 法人税等 当期純利益

(2) グラフで見る最近の動き

2022年度は、製造業、非製造業とも売上高の対前年度増加率が売上債権の増加率を上回ったことから売上債権回転期間は前年度比で短期化しており、全産業で見た売上債権回転期間は前年度比で短期化しております。

